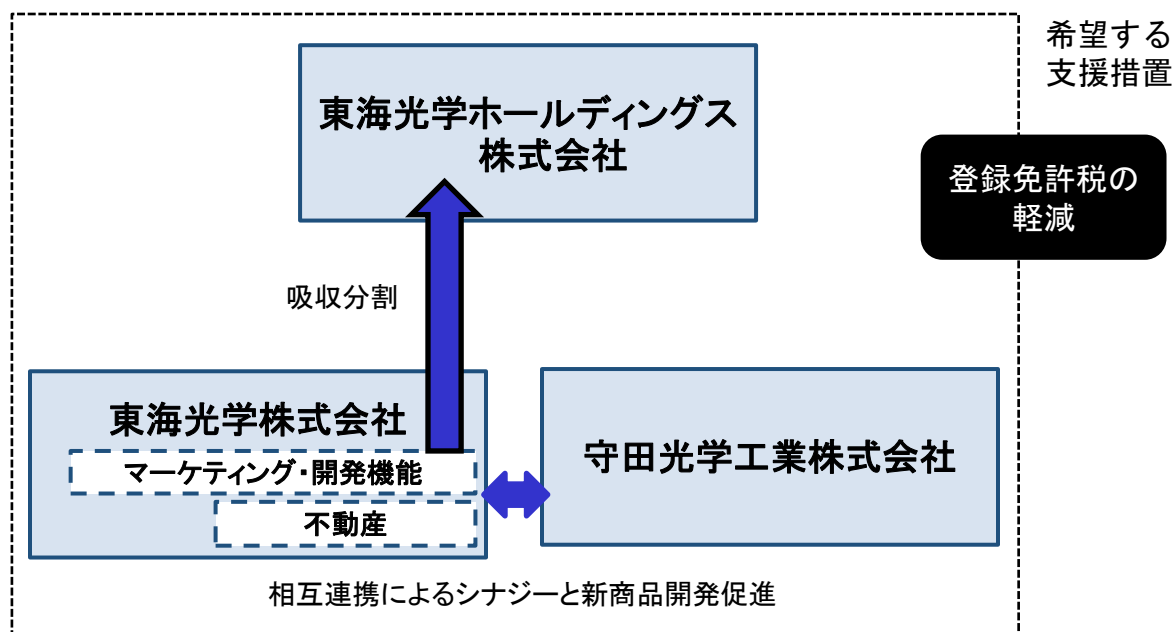


東海光学ホールディングス株式会社の「事業再編計画」のポイント

東海光学ホールディングス株式会社は、東海光学株式会社から会社分割により、マーケティング・開発機能及び不動産の移転を受け、ホールディングスにおいてマーケティング・開発機能を独立させることを通じて、各事業に特化した開発活動を可能にする。

特に今後グループとして注力していく光機能事業部において、東海光学株式会社と守田光学工業株式会社とのシナジー効果を発現させ、生産性の向上や新商品の開発を目指す。



【生産性の向上】

- ・令和7年9月期には従業員1人あたり付加価値額を16.55%向上させる。

【財務の健全性】

- ・有利子負債/キャッシュフロー ▲0.6倍
- ・経常収支比率 119.1%

【新商品の開発】

- ・新商品の売上高を計画最終年度(令和7年9月期)において、総売上高比 1.04%以上とする。

【計画の実施期間】

- ・令和4年10月～令和7年9月